

大阪 コト バ 金水敏



15th Anniversary (2009-24)

ナカノシマ大学2024年3月講座



最近NHKの人気番組「チコちゃんに叱られる!」でもおなじみのお顔です

3/18 (月) 18:00~19:30

会場 **大阪府立中之島図書館** (3階多目的スペース)

受講料 **2,000円** 定員 **60名**

講師 **金水敏** (言語学者 / 日本学士院会員・放送大学大阪学習センター所長・大阪大学名誉教授)

「役割語」のオーソリティが、8年ぶりにナカノシマ大学に登壇します! 「2023年度文化功労者」に選ばれ、1月には皇居にて両陛下や愛子さまに「ご進講」を行った金水先生が、「大阪&関西言葉の特性とイマドキの進化状況」について、たっぷりと講義してくれます。お楽しみに!

〈講師からのメッセージ〉

大阪弁(以下便宜のため、「大阪弁」をもって「関西弁」も包摂するものとします)は、大阪・関西に住む人間にとっての生活やコミュニケーションそのもの(シン大阪弁)である一方で、外の目から見た大阪人の表象(コテコテ大阪弁)でもあります。

両者は重なる部分もありますが、一致しない部分があるのも事実です。本講義では、形の上から「コテコテ大阪弁」と「シン大阪弁」を切り分け、その背後にある言葉の歴史的变化を考察する一方で、「シン大阪弁」常用者の独特なコミュニケーション技法に切り込みます。

きんすい さとし

1956年大阪生まれ。大阪女子大学、神戸大学等を経て、1997年大阪大学文学部に着任、2022年に退職、現職に至る。2020年に日本学士院会員、2023年に文化功労者に選定される。主な著書に『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』(岩波現代文庫、2023)、『コレモ日本語アルカ 異人のことが生まれるとき』(同前)、『日本語存在表現の歴史』(ひつし書房、2006)。



→受講申込はナカノシマ大学の
WEB (「ナカノシマ大学」で検索を) で受付します。

※次回は4月12日(金)18時……「縄文女子コンダ、大阪でマヤ文明を語る」 講師=譽田亜紀子(古代研究者・文筆家)

ど こ へ 行 く の か